# 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	ä	设置認可年月	, i	長名			所在地			
日本工学院専門	門学校 町	四和51年7月	1日 中村	英詞	(住所)	144-8655 東京都大田区西蒲田5 03-3732-1111	5-23-22			
設置者名		设立認可年月	1日 代表	者名		144-8655	所在地			
学校法人片柳!	学園	召和25年3月	1日 千葉	茂	(住所)	東京都大田区西蒲田5 03-6424-1111	5-23-22			
分野	認定課程		認定学科名	_		士認定年度	高度専門士認定	生度	職業実践専	<b>厚門課程認定年度</b>
工業	工業専門語	课程	電子・電気を 電子エ学コー		平成	22(2010)年度	-		平成2	26(2014)年度
学科の目的		務省による無	₹線技術者養成の認定			け、職業人としての 自 する知識、技術及び技能				
可能な資格、中退	第一級陸上無線技術 険物取扱者 中途退学者 0名	析士、第二級	陸上無線技術士、第一	-級陸上特別	诛無線技士、	第二種電気工事士、乙	種第1類危険物取扱	者、乙種第	52類危険物取	扱者、乙種第4類危
修業年限	昼夜 全課程(		な総授業時数又は総 立数	講	義	演習	実習	実	験	実技
2	昼間 ※単位時間 かに記入	間、単位いずれ	1,710 単位時間	1,290	単位時間	単位時間	900 単位時間		単位時間	単位時間
生徒総定員	生徒実員(A)		単位 数 (生徒実員の内数)(B)	<b>留学生</b> 事	<sup>単位</sup> 引合(B/A)	単位	単位		単位	単位
040   0	150 1 (0)									
240人の うち数80 人	うち数43 人 ■卒業者数(C)	43人	.のうち数7 人 	5	%					
	■就職希望者数(		18 18		<del>^</del>					
	■就職者数(E) ■地元就職者数(	F) :	9		$\frac{1}{\lambda}$					
	■就職率(E/D) ■就職者に占める	地元就職者の	100 D割合 (F/E)		%					
	■卒業者に占める別		50		%					
		<u> </u>	62		%					
就職等の状況	■進学者数 ■その他		2		Д					
	0人									
	0)(									
			に関する令和7年5月	1 日時点の作	青報)					
	■主な就職先、業 (令和6年度卒業生)	乔寺								
	( I- II- I I I									
					式会社、ダイ	イキン工業株式会社、村	株式会社小田急ビル	レサービス	く、東洋エンシ	ジニヤリング株式
	会社、SMC株式会	≩社、セントラ	ラル電子制御株式会		式会社、ダイ		株式会社小田急ビル	レサービス	、東洋エンジ	ジニヤリング株式
第三者による		会社、セントラ 事等から第三	ラル電子制御株式会 者評価:		式会社、ダイ	(キン工業株式会社、株 無	株式会社小田急ビル	レサービス	く、東洋エンジ	ジニヤリング株式
第三者による 学校評価	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関	会社、セントラ 関等から第三 J下について任	ラル電子制御株式会 者評価:		式会社、ダイ	無	結果を掲載した	レサービス	ス、東洋エンジ	ジニヤリング株式
学校評価	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えば以	会社、セントラ 関等から第三 J下について任	ラル電子制御株式会 者評価:	社 等)	式会社、ダイ	無		レサービス	く、東洋エン:	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばり 評価団体	会社、セントラ 関等から第三 は下について任	ラル電子制御株式会 者評価:	<b>社 等</b> )	式会社、ダイ	無	結果を掲載した	レサービス	ス、東洋エン: 	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の	会社、SMC株式会 ■民間の評価機B ※有の場合、例えばじ 評価団体 http://www.neec.a	会社、セントラ 事等から第三 よ下について任 : ac.jp/departr	ラル電子制御株式会:   者評価 :   意記載	<b>社 等</b> )	式会社、ダイ	無	結果を掲載した	レサービス	ス、東洋エンシ	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えば以 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ	会社、セント・	ラル電子制御株式会:   者評価 :   意記載	<b>社 等</b> )	式会社、ダイ	無	結果を掲載した			ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ	会社、SMC株式会 ■民間の評価機B ※有の場合、例えばじ 評価団体 http://www.neec.a	会社、セント・ 引等から第三 L下について任 : ac.jp/departr る算定) ※数	ラル電子制御株式会:   者評価 :   意記載	社 等)		無	結果を掲載した	2, 190	単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えば以 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ	会社、セントラ 関等から第三 ITICOLITE : ac.jp/departr こる算定) 数 うち企業等	ラル電子制御株式会 ・者評価: 意記載 ment/design/graphic	社 等) 受審年月: s/ 習・実技のi		無	結果を掲載した	2, 190 240		ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えば以 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ	会社、セントラ 関等から第三 ITICOLITE : ac.jp/departr こる算定) 数 うち企業等	ラル電子制御株式会 ・者評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	社 等) 受審年月: s/ 習・実技のi		無	結果を掲載した	2, 190 240 0	単位時間単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えば以 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ	会社、セントラ 調等から第三 4下について任 : ac.jp/departr にる算定) 数 うち企業等 うち必修搭	ラル電子制御株式会 ・者評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	社 等) 受審年月: s/ 習・実技の打 業時数	授業時数	無評価	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710	単位時間単位時間単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えば以 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ	会社、セント: 1等から第三 1下について任 : はcjp/departr る	ラル電子制御株式会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社 等)  ・受審年月:  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実体の  ・ ながらの実  ・ ながらの演 ・ ながらの演 ・ ため修の演 ・ ため	授業時数 験・実習・ <b>3</b> 習の授業時数	無 評価 ホー を技の授業時数 な	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間単位時間単位時間単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科の ホームページ URL  企業等と連携した	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えば以 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ	会社、セント: 1等から第三 1下について任 : はcjp/departr る	ラル電子制御株式会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社 等)  ・受審年月:  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実体の  ・ ながらの実  ・ ながらの演 ・ ながらの演 ・ ため修の演 ・ ため	授業時数 験・実習・ <b>3</b> 習の授業時数	無 評価 ホー を技の授業時数 な	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ 総授業時	会社、セント: 19等から第三 1下について任 : c.jp/departr る	ラル電子制御株式会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社 等)  ・受審年月:  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実体の  ・ ながらの実  ・ ながらの演 ・ ながらの演 ・ ため修の演 ・ ため	授業時数 験・実習・ <b>3</b> 習の授業時数	無 評価 ホー を技の授業時数 な	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携した決	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業開	会社、セント: 1等から第三 1下について任 : cop/departr る	ラル電子制御株式会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社 等)  ・受審年月:  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実体の  ・ ながらの実  ・ ながらの演 ・ ながらの演 ・ ため修の演 ・ ため	授業時数 験・実習・ <b>3</b> 習の授業時数	無 評価 ホー を技の授業時数 な	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携状した に状れか	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ 総授業時	会社、セント: 1等から第三 1下について任 : copp/departr る	ラル電子制御株式会 ・名評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携したインタ・ まずる。	社 等)  受審年月:  家/  習・実技の打撃時数  た必修の実則  た必修の実列	授業時数 験・実習・身 習の授業時数)	無 評価 ホー を技の授業時数 な	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携状した に状れか	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業開	会社、セント: 19等から第三 1下について任 : cop/departr る	ラル電子制御株式会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社 等) 受審年月:  「要求を対している。」 を必修の実験 での必修の演 でいるがある。 との修の演 でいるがある。 では、	授業時数 験・実習・身 習の授業時数)	無 評価 ホー を技の授業時数 な	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした に 説の表して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業開	会社、セント: 19等から第三 1下について任 : cop/departr る	ラル電子制御株式会 ・名評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業等数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した な業等と連携した まな。 まな。 まな。 まな。 まな。 まな。 まな。 まな。	社 等) 受審年月:  「要求を対している。」 を必修の実験 での必修の演 でいるがある。 との修の演 でいるがある。 では、	授業時数 験・実習・身 習の授業時数)	無 評価 ホー を技の授業時数 な	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした に 説の表して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業開	会社、セント: 19等から第三 1下について任 : ac.jp/departr : る算定) 対数 うち企業等 うち必修括 (うち企業 なりませ) うち企業等 うち企業等 うち企業等	ラル電子制御株式会 ・名評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業等数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した な業等と連携した まな。 まな。 まな。 まな。 まな。 まな。 まな。 まな。	社 等) 受審年月:  「要求技の対象を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必修の実験を必要を表する。	授業時数	無評価ボー	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした に 説の表して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業開	会社、セント: 19等から第三 1下について任 : ac.jp/departr : る算定) 対数 うち企業等 うち必修括 (うち企業 なりませ) うち企業等 うち企業等 うち企業等	ラル電子制御株式会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社 等) 受審年月:  「要求を持ちない。 を必修の実験である。 との修の実験である。 との修の実験である。 との修の実験である。 との修の実験できませる。 との修の実験できませる。 との修の実験できませる。	授業時数 験・実習・3 部の授業時数) 授業時数 授業時数 ・実習・3	無評価ボー	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携しした況	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業開	会社、セント: 19等から第三 1下について任 :: ac.jp/departr : る算定) 対数 うち企業等 うち必修技 (うち企業 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	ラル電子制御株式会 ・名評価: 意記載 ment/design/graphic peと連携した実験・実 を連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した なるで表すると連携した なるで表すると連携した なるで表すると連携した なるで表すると連携した なるで表すると であるであるであるであると であるであるであると であるであるであると であるであるであると であるであるであるであると であるであるであると であるであるであると であるであるであると であるであるであるであるであると であるであるであるであるであると であるであるであるであるであると であるであるであるであるであるであるであるであるであると であるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるで	社 等) 受審年月:  「要求を対 を必修の実験を でのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	授業時数 竣・実習・3 愛の授業時数) 授業時数 授業時数 検・実習・3 競・実習・4 変の授業時数	無評価ボー	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした に 説の表して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業開	会社、セント: 19等から第三 1下について任 :: ac.jp/departr : る算定) 対数 うち企業等 うち必修技 (うち企業 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	ラル電子制御株式会 ・名評価: 意記載 ment/design/graphic peと連携した実験・実 を連携した演習の授 要業等数 うち企業等と連携した ま等と連携した不変での授 要等と連携したで変でである。 ま等と連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した演習の授 を要と連携した まずる企業等と連携した まずるので表	社 等) 受審年月:  「要求を対 を必修の実験を でのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	授業時数 竣・実習・3 愛の授業時数) 授業時数 授業時数 検・実習・3 競・実習・4 変の授業時数	無評価ボー	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした に 説の表して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ 総授業開	会社、セントラ 等から第三 に、jp/departr る第定) うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要素時数 うち企業等と連携したインタ・ 手と連携した演習の授 要集時数 うち企業等と連携した方習の授 要素時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した まずる まずる まずる まずる まずる まずる まずる まずる まずる まずる	社 等)  受審年月:  受審年月:  「「「「「「」」」  「「」  「「  「「」  「「  「	授業時数 竣・実習・3 愛の授業時数) 授業時数 授業時数 検・実習・3 競・実習・4 変の授業時数	無評価ボー	結果を掲載した	2, 190 240 0 1, 710 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携状した に状れか	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばと 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業時 (B:単位数による 総授業時	会社、セント:   19等から第三   17   17   17   17   17   17   17   1	ラル電子制御株式会 ・名評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した をと連携した演習の授 要と連携した演習の授 要と連携した演習の授 要素等と連携した を要とを要とを要とを要とを要とを要とを要とを要とを要とを要とを要とを要とを要とを	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で に 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・  ・   ・ で か で   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で     で	授業時数 綾・実習・身 第四の授業時数) 授業時数 検・実習・身 を を を の授業時数)	無評価ボー	結果を掲載したムベージURL	2. 190 240 0 1. 710 210 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした に 説の表して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばよ 評価団体 http://www.neec.a (A:単位時間によ 総授業時 (B:単位数による 総授業時	会社、セント:   19等から第三   17   17   17   17   17   17   17   1	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要素時数 うち企業等と連携しが うち企業等と連携したインタ・ を連携した演習の授 要素時数 うち企業等と連携したインタ・ を連携した大変習の授 要素時数 うち企業等と連携したインタ・ を連携した大変習の授 要素時数 っち企業等と連携したインタ・ を連携したで変響と連携したインタ・ を連携したで変響と連携したインタ・ を連携したその授 のででである。	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で に 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・  ・   ・ で か で   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で     で	授業時数 綾・実習・身 第四の授業時数) 授業時数 検・実習・身 を を を の授業時数)	無評価ホー	結果を掲載したムベージURL	2. 190 240 0 1. 710 210 240	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした に 説の表して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	会社、SMC株式 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばは 評価団体 http://www.necc.a (A:単位時間による 総授業時 (B:単位数とと素明 いて専るの がある。 のは、 を通算し、 でものは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	会社、セントラ 第等から第七 はc.jp/departr この第2下について任 この第2下について にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのまに にのま にのまに にのまに にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま にのま	ラル電子制御株式会 ・名評価: 意記載 ment/design/graphic 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を変異時数 うち企業等と連携した を変異時数 うち企業等と連携した のでででである。 でのである。 でのでのでのである。 でのでのである。 でのでのでのである。 でのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で に 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・  ・   ・ で か で   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で     で	授業時数 綾・実習・時数 の授業時数) 授業時数 検・の授業時数 の授業時数 (専修学)	無 評価 ボー 最大の授業時数 な	結果を掲載した ムページURL	2. 190 240 0 1. 710 210 240	単位時間 単単位時間 単単位位時間 単単位位時間 単位位位は 単単位位 単単単位 単単位 単単単 単位 単単 単位 単 単  大	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームのイージ URL 企業等をと連携した況かに記入)	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばは 評価団体 http://www.necc.a 総授業時 (B:単位数による 総授業時 (B:単位数による時 になって のでの表す。 での調として、 のでの表す。 での調として、 のでの表す。 での調として、 のでの表す。 での調として、 のでの表す。 での調として、 のでの調として、 のでの表す。 のでののでの。 のでのます。 のでのでのでのでのでの。 のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	会社、セント:   19等から第1年   19年   1	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  pe と連携した演習の授業 要業時数  うち企業等と連携した うちで うちで うちで うちで うちで うちで うちで うちで うちで うちで	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で に 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・  ・   ・ で か で   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で     で	授業時数  徐·実習・手数  授業時数  授業時数  (專修学)	無 評価 ボーー を技の授業時数 な を設置基準第41条第1項第 を設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL	2, 190 240 0 1, 710 210 0 240	単位時間間単単位位時間間単単位位時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれかに記入)	会社、SMC株式会 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばよ 評価団体 http://www.necc.a 総授業時 (A:単位数による 総授業時 (B:単位数とよる にできる。 できる。 できる。 はなる。 できる。 はなる。 できる。 はなる。 はなる。 できる。 はなる。 できる。 はなる。 はなる。 できる。 はなる。 はなる。 できる。 はなる。 できる。 はなる。 はなる。 できる。 はな。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな	全社・セントラー (1) では、 (1) では、 (2) では、 (3) では、 (3) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (6) では、 (7) では、 (7) では、 (8)	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  等と連携した演習の授 要素時数  うち企業等と連携した うちで まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で に 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・  ・   ・ で か で   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で     で	授業時数 徐・実習・時数 の授業時数) 授業時数 (専修学・ (専修学・ (専修学・	無 評価 ボーー にはの授業時数 な を設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL	2, 190 240 0 1, 710 0 240 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のボームのでは、 URL に記入) 企業等等、Bいが、に記入)	会社、SMC株式録 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばよ 評価団体 http://www.neec.a 総授業時 (A:単位数による 総授業時 (B:単位数を を の の の の の の の の の の の の の の の の の の	全社、セントラー 第等から第三に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  等と連携した演習の授 要素時数  うち企業等と連携した うちで まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で に 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・  ・   ・ で か で   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で     で	授業時数 綾・実習・身 を変わり 授業時数) 授業時数) 授業時数) (専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、「専修学・学・「、「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・	無 評価ホーー を技の授業時数 な を設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	2. 190 240 0 1. 710 0 240 3 3 3 0 2	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームのには、   ・	会社、SMC株式 ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えばよ 評価団体 http://www.neec.a (A:単位数に乗時 (B:単位数による 総授業時 (B:単位数による 総授業時 (C) できの (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位を (B:単位数による (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:せ位を	全社、セントラー 第等から第三に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  等と連携した演習の授 要素時数  うち企業等と連携した うちで まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で に 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・  ・   ・ で か で   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で     で	授業時数 綾・実習・身 を変わり 授業時数) 授業時数) 授業時数) (専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、「専修学・学・「、「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・	無 評価 ボーー にはの授業時数 な を設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	2. 190 240 0 1. 710 0 240 3 3 3 0 2 2	単位時間間単位時間間単位時間間 単位位時間間 単位位時間間 単位位時間間 単位位 単位位 単位位 上上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームのでは、 URL に記入) を書等等の関係が、 に記入)	会社、SMC株式録 ■民間の評価機関 ※有の場合、例えばよ 評価団体 http://www.neec.a 総授業時 (A:単位数による 総授業時 (B:単位数を を の の の の の の の の の の の の の の の の の の	全社、セントラー 第等から第三に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  等と連携した演習の授 要素時数  うち企業等と連携した うちで まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・	授業時数 綾・実習・身 を変わり 授業時数) 授業時数) 授業時数) (専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、「専修学・学・「、「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・	無 評価ホーー を技の授業時数 な を設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	2. 190 240 0 1. 710 0 240 3 3 3 0 2 2	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のホームのでは、 URL に記入) を書等等の関係が、 に記入)	会社、SMC株式 ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えばよ 評価団体 http://www.neec.a (A:単位数に乗時 (B:単位数による 総授業時 (B:単位数による 総授業時 (C) できの (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位数による (B:単位を (B:単位数による (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:世位を (B:せ位を	全社、セントラー 第等から第三に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  等と連携した演習の授 要素時数  うち企業等と連携した うちで まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	社 等)  ・ 実 技の打   ・ 実 技の   ・ で 必 修 の   ・ 実 技の   ・ で か で ・ で か で で 、   ・ で か で 、   ・ で か で 、   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で ・   ・ で か で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で   ・ で    ・ で    ・ で    ・	授業時数 綾・実習・身 を変わり 授業時数) 授業時数) 授業時数) (専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、専修学・学・「、「専修学・学・「、「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・	無 評価ホーー を技の授業時数 な を設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	2. 190 240 0 1. 710 0 240 3 3 3 0 2 2	単位時間間単位時間間単位時間間 単位位時間間 単位位時間間 単位位時間間 単位位 単位位 単位位 上上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	ジニヤリング株式
学校評価 当該学科のボームページ URL と連携施状か とと実等、Bいた況か に記入)	会社、SMC株式機関の評価機関が有の場合、例えば、	会社、セントラ (第等からすというで任 により/departr による算定 うちを企業等 うちを企修移 (うちを企業等 うちを企修移 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業等 がらずを による のでは、 では、 では、 では、 では、 でいる。	ラル電子制御株式会 者評価: 意記載  ment/design/graphic  pe と連携した実験・実 等と連携した演習の授 要業時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携したインタ・  pe と連携した実験・変 手と連携した実験・変 手と連携した大変での授 要業時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した を業等と連携した。変 を変 うち企業等と連携した。変 を変 うち企業等と連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 を変 きと連携した。変 を変 を変 きと連携した。変 を変 を変 きと連携した。変 を変 を変 きと連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 きと連携した。変 を変 きると連携した。変 を変 きると連携した。変 を変 きると連携した。変 を変 きると連携した。変 を変 を変 を変 を変 を変 を変 を変 を変 を変 を変 を変 を変 を変	社 等) 学 等	授業時数  徐・実習・身後  ・変理・時数  授業・時数  授業・時数  ・変理・時数  ・変理・時数  ・変理・時数  ・変理・時数  ・変理・時数  ・変理・時数  ・のできる ・ので	無 評価ホーー を技の授業時数 な を設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL	2, 190 240 0 1, 710 210 240 3 3 3 0 2 1 1 9	単位時間間単位時間間単位時間間 単位位時間間 単位位時間間 単位位時間間 単位位 単位位 単位位 上上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	ジニヤリング株式

- 1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

電子技術者の養成を目的とし、電子機器の設計・製造・保守を手がける企業や情報通信・家電製品技術にかかわる団体より、最新技術・授業内容・設備状況の助言を受け、業界が求める人材像の把握と学生時代に習得すべき知識や技術を整理し、授業カリキュラムや授業・実習へ反映させる。

# (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、カレッジ長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

			+4月1日現在
名 前	所 属	任期	種別
鯨井 勝	一般財団法人 家電製品協会	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
谷内 勝則	イチコーエンジニアリング株式会社	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
井上 悦徳	東名メディック株式会社	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
川村 公二	日本工学院専門学校 テクノロジーカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
渡邉 和之	日本工学院専門学校 テクノロジーカレッジ 電子・電気科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
大塚 勝哉	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 課長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
			[

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - 1837代の教職員が子校園の委員として参画する場合、権利の欄は「 」を記載しててたさい ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
  - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月6日

第2回 令和7年3月18日

# (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

現場ではハード、ソフト、弱電、強電問わず全体を俯瞰出来る技量が求められる。狭い範囲に留まることなく、学生にはコンピュータを含めたモノづくりにおいて完成体験を是非とも味わってもらいたいとのご意見を頂き、初年度の実習から卒業製作まで段階的に実践する必要性を認識した。また、時間内に話し切れるようにスライドをまとめる、というのは良い練習になり、それなりのポストに行くには自己表現、プレゼンテーション力が必要で、自分を売り込まないといけないというご指摘を受け、授業内でのプレゼンテーションの機会を増やす予定。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行なうため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、又は技術指導などを受けられる企業を選定する。

# (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

令和7年11月22日、25日に京セラコミュニケーションシステム(株)との連携授業を電子工学コース1年生を対象に実施した。昨年

度は5月に実施していたが、今年度は就職活動が本格化する前の11月22日に座学にて電波法規や移動体通信に関する内容を受講 し、25日には実際に使用されている移動体通信電波を測定器で表示する実験を行った。

# (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
エレクトロニクス通信実験	Wi-FiやLAN回線などの通信機器を用い、通信技術の実際を学びます。	(株)サンライズラボ
電子回路製作実習	増幅回路や発振器、マイコンを応用した回路の設計・製作を行います。	(株)サンライズラボ
卒業製作	アンテナの設計・製作、マイコンを使用した回路製作、電子回路 の応用製作などのものづくりを行い、製作した製作品に関しての 発表を行います。	(株)サンライズラボ
通信システム1	通信方式、測定器、接地局設計、電波法令の学習ならびにパワーメーター、スペアナを使用した電波測定を行います。	京セラコミュニケーションシステム(株)

# 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: オフグリッド施設 シラハマ校舎現場見学 連携企業等: (株)アーキンド(株)新和電工

期間: 令和6年12月13日 対象: 電子・電気科教員

太陽光パネル・蓄電池・排水循環システムを備えたオフグリッド施設であり、災害時は避難場所としても機能するフェーズフリーを体現した廃校活用モデルシラハマ校舎を見学し、電気設備の設計・管理・施工を担った企業よりお話を聞く

ことにより、スクラップ&ビルドからサーキュラーエコノミーへと時代が変遷していく中での電子・電気技術の重要性を

確認した。

②指導力の修得・向上のための研修等

「必履修科目 情報 I の現状と指導法の一例」 連携企業等: 情報通信人材教育研究会 ~ 主体的で対話的な実践事例を踏まえて~

期間: 令和6年7月30日 対象: 電子・電気科教員

本講演では、簡易的に情報科の歴史と現状を示した後に、講師が小学生、中学生、高校生、大学生、社会人を対象に

実施している情報科学やComputer Scienceの基礎を試行錯誤しながら学ぶ授業や講座の短縮版模擬授業を実施し

た。

(3)研修等の計画

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: CEATEC JAPAN 2025 Inter Bee 2025 連携企業等: 各出展団体・企業

9和7年10月14日~17日 期間: 今和7年11月16日 01日 対象: 電子・電気科教員

内容
上のための研修等定期的に開催される技術セミナーや展示会に参加し、最新技術動向を確認。また、第一線で活躍

する技術者を招いて研修会を実施する。

令和7年11月19日~21日

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新しい学びの方法「アクティブラーニング」 連携企業等:株式会社アクティブラーニング

期間: 令和7年8月29日 対象: 電子・電気科教員

内容外部講師による特別講演にて学ぶ力を育む教育と人材育成の実践

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を 行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価 を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者 等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育 環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関 係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)「寺修子校における子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	(1)教育理念·目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献·地域貢献
(11)国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

#### (3)学校関係者評価結果の活用状況

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価 を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者 等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育 環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関 係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

# (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社	令和7年4月1日	IT企業等委員/卒
	最高顧問	~令和8年3月31日(1年)	業生委員
正木 英治	株式会社マックス	令和7年4月1日	地域関連/
	専務取締役	~令和8年3月31日(1年)	会計専門委員
壺阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報道局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ企業 等委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会)	令和7年4月1日	クリエイターズ/デ
	教育事業部教育推進グループセクションチーフ	~令和8年3月31日(1年)	ザイン企業等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会	令和7年4月1日	テクノロジー
	事務局長	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 常務理事	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.neec.ac.ip/public/ 令和7年9月30日

URL: 公表時期 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報 を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、 学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に 関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事 業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設·設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.neec.ac.jp/public/ 令和7年9月30日

公表時期:

# 授業科目等の概要

				課程 電子・電	気科電子工学コース)											
		分類	Į						授	業プ		場	所	教	員	
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次	授業	単位	講	演	実	校	校	専	兼	ے
	修	必修	選択			· 学 期	数	数	義	習	習・実技	内	外	任	任	の連携
1	0			ビジネススキ ル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジ ネス能力を総合的に高めるためのトレーニ ングをします。	1 • 後	30	2	0			0		0		
2	0			キャリアデザ イン 1	就職に必要なマナーや一般常識などを学び ます。	1 • 前	30	2	0			0		0		
3			0	スポーツ実習 1	スポーツを通じ身体を鍛え、人間力を高め ます。	1 · 後	30	1			0		0	0		
4			0	英語 1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語 表現力の基礎を学びます。	1 • 前	30	2	0			0		0		
5	0				サイエンスの知識として、物体の運動や力 などについて学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
6	0				テクノロジーの基礎知識や計算手法につい て学びます。	1 • 前	60	4	0			0		0		
7	0			テクノロジー 基礎 2	ものづくり解析などに必要な数学を学びま す。	1 • 後	60	4	0			0		0		
8	0				2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路 について学びます。	1 • 後	30	2	0			0		0		
9	0			電気回路 1	直流回路などの電気回路について学びま す。	1 • 前	60	4	0			0		0		
10	0			電気回路 2	交流回路の考え方、法則、計算方法などに ついて学びます。	1 • 後	60	4	0			0		0		
11	0			電子回路 1	アンプなど電子機器の原理や動作について 学びます。	1 • 後	60	4	0			0			0	
12			0	ビデオ技術	画像や映像の記録、伝送の方法について学 びます。	1 • 前	30	2	0			0		0		

															$\neg$
13		(	0	オーディオ技 術	スピーカやマイクロホン、アンプなどオー ディオ機器について学びます。	1 • 前	30	2	0		0		0		
14		(	0	家電製品技術	テレビ、地上デジタル、HDD・BDレコーダな ど家電製品技術を学びます。	1 • 後	60	4	0		0		0		
15		C	0	資格対策講座 1	各種資格取得のためのバックアップ講座で す。	1 • 前	60	4	0		0			0	
16		C	0	資格対策講座 2	各種資格取得のためのバックアップ講座で す。	1 • 後	60	4	0		0			0	
17	0			電子工作実習 1	オーディオアンプなど簡単な回路の組立を 通じ、電子技術について体験的に学びま す。	1 • 前	60	2		0	0			0	
18	0			電子工作実習 2	イコライザーアンプなど回路の組立を通 じ、電子技術について体験的に学びます。	1 · 後	60	2		0	0			0	
19	0			プログラミン グ実習	C言語プログラミングを行います。	1 • 後	60	2		0	0		0		
20	0			エレクトロニ クス基礎実験	デジタル回路、パルス回路、アンプなど電 子回路の動作を学びます。	1 • 後	60	2		0	0			0	
21	0			テクノロジー 実習	部品や簡単な回路の動作を実験を通じ学び ます。	1 • 前	60	2		0	0			0	
22	0				WindowsやOffice、インターネット利用上のマナー、エンジニアとしてのPCの利用方法を学びます。	1 • 前	60	2		0	0		0		
23		C	0	インターン シップ1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のス キルを高めます。	1 • 通	30	1		0		0	0		
24	0				社会人として必要な知識や自己表現力など を学びます。	2 • 前	30	2	0		0		0		
25		(	0	スポーツ実習 2	スポーツを通じ身体を鍛え、人間力を高め ます。	2 • 後	30	1		0		0	0		
26		(	0	英語 2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語 表現力の応用を学びます。	2 • 前	30	2	0		0		0		
27	0			電子回路 2	発振回路や電源回路、オペアンプを使用した回路など、様々な電子機器の動作について学びます。	2 • 前	60	4	0		0			0	

28	0				マイクロコンピュータのしくみや動作を学 びます。	2 · 前	60	4	0		0		0	
29	0			光エレクトロ ニクス	光通信や半導体レーザなどについて学びま す。	2 · 後	30	2	0		0		0	
30	0			通信システム 1	携帯電話などにも用いられる通信技術を学 びます。	2 • 前	30	2	0		0	0		0
31	0			通信システム 2	通信技術の応用、実際の通信機器について 学びます。	2 • 前	30	2	0		0	0		
32	0			計測技術	電子機器の計測方法、計測器の原理などに ついて学びます。	2 • 後	30	2	0		0		0	
33			0	電子回路設計	増幅回路や発振器などの設計方法を学びま す。	2 • 前	30	2	0		0	0		
34			0	電子応用技術	カーナビゲーションシステムなど電波応用 技術など様々な電子技術の活用法を学びま す。	2 • 後	60	4	0		0		0	
35			0		ホームシアターなど、デジタルAV技術を学 びます。	2 • 前	60	4	0		0	0		
36			0	スマート家電 技術	スマートハウスなどの技術を中心に、家電 製品エンジニア・スマートマスターを目指 します。	2 • 後	60	4	0		0	0		
37			0	資格対策講座 3	各種資格取得のためのバックアップ講座で す。	2 • 前	30	2	0		0		0	
38			0	資格対策講座 4	各種資格取得のためのバックアップ講座で す。	2 • 後	60	4	0		0		0	
39			0	資格対策特別 講座	様々な資格対策を行います	2 • 前	30	2	0		0		0	
40	0				スマートフォンなどで使われる通信技術の 実際を学びます	2 • 前	30	1		0	0	0		0
41		0		電子回路製作 実習	増幅回路や発振器などの設計・製作を行い ます。	2 • 前	60	2		0	0	0		0
42			0		デジタルフィルタなどDSPの基礎などのデジタル技術を実験します。	2 • 前	60	2		0	0		0	

43		0		テレビなど家電製品の故障発見・対応など について実習します。	2 • 前	30	1			0	0		0		
44		0	ホームエレク トロニクス実 験	ホームシアターや地デジなどの技術を実習 します。	2 • 後	60	2			0	0		0		
45	0		卒業製作	ものづくりを通じ、2年間で習得した技術 の集大成します。	2 • 後	120	4			0	0		0		0
46		0		企業研修で実際の現場を学び、実践力のス キルを高めます。	2 • 通	30	1			0		0		0	
		合	<u></u> 計	46	3 1	科目		11	18 (2	2190)	単位	<u></u>	単位	時間	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件:	卒業時に必修科目1,110時間(61単位)、選択科目600時間(29単位)以上を取得し、合計1,710時間(90単位)以上を取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	1年次は必修810時間、選択科目60時間以上履修すること 2年次は必修300時間、選択科目540時間以上履修すること 選1から60時間以上、選2から540時間以上、選3は授業時間割外で実施する ・電子工学専攻 1年次は選択1の中のオーディオ技術、ビデオ技術を選択すること。 2年次は選択2の中の電子回路設計、電子回路製作実習を選択すること。 ・オーディオ・家電専攻 1年次は選択1の中のオーディオ技術、ビデオ技術を選択すること。 ・オーディオ・家電専攻 1年次は選択1の中のオーディオ技術、ビデオ技術を選択すること。 2年次は選択2の中のスマート家電技術、ホームエレクトロニクス実験を選択すること。 ・スマート技術専攻 1年次は選択1の中の家電製品技術を選択すること。 2年次は選択2の中のスマート家電技術、デジタルテクノロジー実験、ホームエレクトロニクス実験を選択すること。 ●第2級陸上無線技術士の科目免除には、必修科目のほか、資格対策講座 1、資格対策講座2を履修すること。 ●第一級、第二級陸上特殊無線技術士の認定を受けるためには、必修科目のほか、資格対策講座3、資格対策講座4を履修すること。 ●エ事担任者の基礎科目免除には、必修科目の履修が必要になります。	1 学期の授業期間	15 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。